

## 第1回 破壊靱性検討会議事録

1. 開催日時：平成15年3月18日(火) 13:30～17:00

2. 開催場所 (社)日本電気協会 4D会議室

3. 参加者 (順不同, 敬称略)

- 出席者：富松幹事 (MHI), 曾根田 (電中研), 山下 (東電), 小林 (原電), 高崎 (電発), 小島 (日立), 松本 (パブコック日立), 金澤 (東芝), 平野 (IHI), 後藤 (神戸製鋼), 中野 (関電), 朝田 (MHI), (計12名)
- 代理出席者：半田 (川鉄・久保代理) (計1名)
- 欠席者：鈴木 (日本製鋼所), 辻 (富士電機), 鈴木 (原研), 藤浦 (発電技検) (計4名)
- 事務局：上山, 福原 (日本電気協会)

4. 配付資料

- 資料 No.1-1 構造分科会規格改廃要否及び平成14年度活動実績,平成15年度活動計画(案)
- 参考資料-1 破壊靱性検討会委員名簿
- 参考資料-2 平成14年度破壊靱性検討会議事録(案)
- 参考資料-3 第8回原子力規格委員会議事録(案)
- 参考資料-4 規約に基づいた既存の規格の制定について
- 参考資料-5 原子力規格委員会 分科会規約
- 参考資料-6 「JEAC4206-XXXXX 追補版 原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法(原子炉圧力容器に対する運転期間中の非延性破壊防止の評価法)」(案)に関する書面投票の結果について
- 参考資料-7 規格案に対する意見受付公告について
- 参考資料-8 「JEAC4206-XXXXX 追補版 原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法(原子炉圧力容器に対する運転期間中の非延性破壊防止の評価法)」(案)に関する書面投票のコメントと対応
- 参考資料-9 「JEAC4206-XXXXX 追補版 原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法(原子炉圧力容器に対する運転期間中の非延性破壊防止の評価法)」(案)

5. 議事

(1) 前回議事録の確認

参考資料-2 前回議事録(案)(非公開開催)の内容について事務局より紹介があり、特にコメントなく了承された。なお、本資料は非公開開催の検討会議事録であり、開示請求が寄せられた場合も、公開資料と同一には扱わない旨、事務局より報告があった。

(2) JEAC4206-XXXXX 追補版 原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法(原子炉

圧力容器に対する運転期間中の非延性破壊防止の評価法」(案)について  
事務局より、題記追補案審議プロセスとして以下の内容が紹介された。

書面投票(平成14年12月20日~平成15年1月20日)実施。可決。

公衆審査(平成15年1月24日~平成15年3月24日)実施。

公衆審査対応案について平成15年3月25日第5回構造分科会で審議予定。

公衆審査対応案について平成15年3月26日第9回原子力規格委員会にて審議  
予定。

発刊作業実施予定。(校正及び著作権交渉)

(3) 今後の検討会の運営について

事務局より、参考資料-5に基づき、検討会公開開催の経緯、分科会での了承事項、規約  
に基づく運営上の留意点などの紹介が行われた。

(4) 当検討会主査の選任について

題記について、規約に基づき主査候補の委員推薦を募ったところ、富松委員(三菱重工  
業)が推薦され、その他の候補がないことを確認した後挙手による決議を行い、委員総  
数17名、出席者数13名の全員の賛成で了承された。

なお、富松主査より、副主査として平野委員(IHI)が指名された。

(5) JEAC4206-XXXX 追補版 原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法(原子炉  
圧力容器に対する運転期間中の非延性破壊防止の評価法」(案)公衆審査対応について  
題記について、現在10名程度から資料請求の依頼を受けているが、未だコメントなし、  
との紹介が事務局より行われた。

今後期間内に意見が送付された場合、コメント対応策を検討した上で、第5回構造分科  
会(3月25日開催予定)、第9回原子力規格委員会(3月26日開催予定)に諮ること  
となる。

なお、上記委員会審議終了後は、意見提出者に直接回答を送付するとともに、その内容  
がWebに掲載される旨の紹介があった。

(6) 構造分科会規格改廃要否及び平成14年度活動実績、平成15年度活動計画(案)につ  
いて

題記については、規約に基づき、第5回構造分科会(3月25日開催予定)に諮る必要  
があり、資料No.1-1の原案が提示され、当検討会所掌のJEAC4201、JEAC4202、JEAC4206  
の平成15年度改定活動の計画について審議が行われた結果、概ねその内容について了承  
された。

詳細は以下のとおり。

【改定審議事項】

**a. JEAC4201-2000 原子炉構造材の監視試験方法**

USE予測式(MHI)

試験片取り出し時期（東電・関電・原電）

米国関連規格調査（ASTM-E185・10CFR50 App.H（MHI）, ASTM-E900（電中研）

Editorial（本文：原電，その他：MHI）

**b. JEAC4202-1991 フェライト鋼の落重試験方法**

米国規格調査，Editorial（川鉄，神鋼）

**c. JEAC4206-2000 原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法**

USE 関連（MHI）

追補版反映（IHI）

Editorial 及び米国規格調査（以下の分担で実施）

- 第1章 総則及び第1章解説（日立）
- 第2章 第1種機器（関電）
- 第3章 第2種容器～第5章 第4種容器・管及び第3章解説（東芝）
- 第6章 支持構造物～第8章 その他重要な機器及び第6章解説（東電）
- 付録1及び付録解説（IHI）
- 付録2，4（川鉄・NKK）
- 付録3，5及び付録解説（MHI）
- 付録6（東芝）
- 第2章解説のうち（解説-B-1000-1）～（解説-B-4200-1）（BHK）
- 第2章解説のうち（解説-B-4200-2）～（解説-B-4200-4）（MHI）
- 破壊靱性検討会報告書（PFR-9901-2000），（PFR-7901-2000）（MHI）

（スケジュール）

	5	6	7	8	9	10	11	12
破壊靱性検討会		#2：6/3AM10:00～ ・ USE 以外は調査結果報告 反映項目を審議 ・ USE 技術資料ドラフト ・ 4202 規格案ドラフト		#3 ・ 4201,4206 規格案ドラフト ・ 4202 規格案 FINAL			#4 ・ 4201 規格案 FINAL ・ 4206 規格案 FINAL	
構造分科会					・ 4202 規格 ・ USE 技術資料		#4 ・ 4201 規格案 ・ 4206 規格案	

（7）その他

次回開催日は6月3日（火）10：00～17：00となった。

以上